

過去問でチャレンジ あなたの基礎力は大丈夫？

～「財務・会計BASIC」受講判定テスト～

【問題】

次の精算表では、損益計算書欄と貸借対照表欄とで、当期純利益の額が異なっている。これに関連し、下記の設問に答えよ。(平成16年度中小企業診断士第1次試験 第2問)

精算表 (単位：万円)

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	580						580	
売掛金	2,900						2,900	
繰越商品	300		① 320	① 300			320	
前受金	80						80	
買掛金		2,240						2,240
前渡金		100						100
備品	300						300	
貸倒引当金		40		② 30				70
減価償却累計額		120		③ 20				140
資本金		1,500						1,500
売上		5,000				5,000		
仕入	3,920		① 300	① 320	3,900			
給料	600				600			
支払家賃	300			④ 50	250			
仕入割引	20				20			
	9,000	9,000						
貸倒引当金繰入			② 30		30			
減価償却費			③ 20		20			
前払家賃			④ 50					50
当期純利益					180			80
			720	720	5,000	5,000	4,180	4,180

(設問1)

当期純利益の額が合わない原因は何か。次に掲げる原因のうち、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 貸借対照表勘定と損益計算書勘定を混同している。
- b 資産勘定と負債勘定を混同している。
- c 資産勘定と資本勘定を混同している。
- d 収益勘定と費用勘定を混同している。
- e 金額を移記する際に、借方と貸方を混同している。

【解答群】

- ア aとbとc イ aとbとd ウ aとcとe
エ bとdとe オ cとdとe

(設問2)

精算表を正しく作り替えたとき、当期純利益の額として最も適切なものはどれか。

- ア 60万円 イ 130万円 ウ 180万円 エ 220万円

診断士合格講座「財務・会計」(全12回)の講義は、簿記をはじめとする基礎的な知識を学ぶ1回目から4回目の「財務・会計BASIC」と、本格的に「財務・会計」を学ぶ5回目以降の講義に分かれています。全ての方が「財務・会計BASIC」を受講する必要はありません。既に基礎力がある方は5回目から受講してください。
この問題に正解できなかった方は「財務・会計BASIC」から学習を始めてください。解説が必要な方は、「財務・会計BASIC」をご受講ください。

【解答】

- (設問1) エ (設問2) エ

